



stop! コモチカワツボ



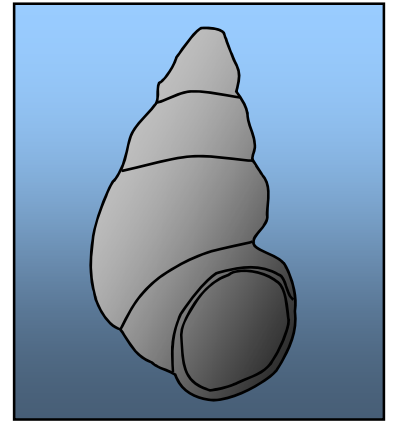
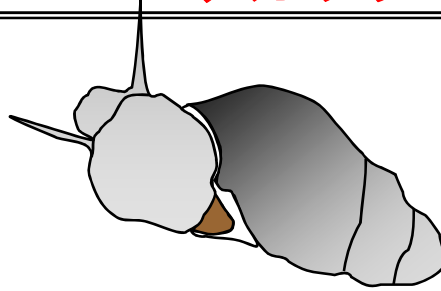
コモチカワツボとは？

和名: コモチカワツボ

学名: *Potamopyrgus antipodarum*

分類群: 中腹足目 ミズツボ科

原産地: ニュージーランド



日本では1990年に三重県桑名市で初めて見つかリ、現在は16道府県で生息が確認されています。

メスだけで無性生殖をするものがある、一匹でも入れれば子供を産むので、どんどん増えます。

コモチカワツボは藻やバクテリアを食べて育ち、汚濁にも強いので、生存に適した環境に置くと、一匹の貝が一年間で数千匹にまで増えると言われていす。

コモチカワツボとカワニナの違い

資料出典 コモチカワツボ調査ガイド 浦部美佐子(滋賀県立大学)

<http://vege1.kan.ynu.ac.jp/forecast/methods/Potamopyrgus.htm>

コモチカワツボ

カワニナ (稚貝)



コモチカワツボによる生態系への影響

コモチカワツボは、形が多少違うもののホタルの餌であるカワニナの稚貝によく似ています。そのため、カワニナに混入してホタルの生息している川に撒かれるケースが危惧されます。

また、マス類等はコモチカワツボを食べても消化できず、魚の移動、放流による拡大も心配されます。

「カワニナと似ているし、ホタルもコモチカワツボを食べるから問題はないのでは…」と思われるかもしれませんが、コモチカワツボを食べて育ったホタルは、カワニナを食べて育ったホタルと較べて、致死率が高かったり、発光が弱くなることが報告されています。

コモチカワツボの増加は、カワニナだけに限らず、同じ場所に住み同じ餌を食べる川虫などを駆逐し、それを餌とする魚類等にも影響が懸念されます。

自然を守る為、ホタルを増やす為に行ったことがかえって自然を壊すことになりかねません。

生態系を守るためにも、自然界では起こり得ない生き物の移動を行う際は留意が必要です。

長野県庁 環境部 自然保護課 TEL:026-235-7178 FAX:026-235-7498

住所 〒380-8570長野県長野市大字南長野字幅下692-2

HP <http://www.pref.nagano.jp/kankyo/hogo/gairai/gairai.htm>

メールアドレス shizenhogo@pref.nagano.lg.jp